

廣福寺だより

平成28年 6月



花まつり 華やかに

風薰る五月十四日(土)、広福寺を会場に
弥彦村仏教会主催の「花まつり」が、盛大
に執り行われました。この日がちょうどお
釈迦様のお誕生日、旧暦の四月八日に当た
る日でした。

弥彦、麓、矢作と、毎年各地区の寺院の
持ち回りで行われておりますが、今年は七
年ぶりに当寺での開催となりました。

法要には村内十一ヶ寺のご寺院様方にご
出仕頂きました。地元区長の近山統一郎さ
んに来賓のご祝辞を頂き、広大会の子供た
ちなど二十人には、献花・献灯・灌仏をし
てもらいました。七十名以上の方にお参り
を頂きました。お陰様で当日は総勢百名以
上で「花まつり」を勤めることができまし
た。ご寺院様方をはじめ、参加の勧誘とお
弁当配布をして下さった方々に、この場を
借りて厚く御礼を申し上げます。

午後の余興は、今年から落語にさせて頂
きました。平成二十四年に社会人落語日本
一に輝いた、知る人ぞ知る実力者、三流亭
樂々さんです。方言を使ったお話や、オレ
オレ詐欺の話、古典落語に新作落語、最後
には南京玉すだれと、サービス満点、盛り
ださんの熱演に、本堂の中は大爆笑が続
きました。

花まつり 華やかに勤まる

今年の「花まつり」には、弥彦村仏教会の十一ヶ寺からご参加頂きました。

弥彦の宝光院様、本高寺様、矢作の法圓寺様、慈眼寺（吉田の観音寺）様、井田の照瑞寺様、村山の専称寺様、麓の興善寺様、林通寺様、薬師寺（石瀬の種月寺）様、心光寺、広福寺です。

花まつりとは？

四月八日はお釈迦様の誕生日です。古くから「花まつり」としてお祝いの仏事が営まれています。

弥彦村では一ヶ月ずらして五月の第二土曜日に行っています。

お釈迦さまは今から二千五百年前インドで誕生され、直後に七歩歩いて、右手で天を、左手で地を指して「天上天下唯我獨尊」と話したと伝えられています。この伝説に基づいた姿の仏様になっています。



献華・献灯・甘茶かけ

お釈迦様ご誕生のとき、空から甘露が降りそそいだという故事から甘茶かけをしています。広大会の子どもたちを中心二十人の子どもたちが緊張しながら行いました。大人の方にも休憩時間に甘茶をかけていただきました。



今年から余興が落語になり、大勢の方が午後の時間を楽しめました。楽々さんのお話に、爆笑の渦の堂内です。

落語



めくり台は矢作・安達七司様より製作頂きました。厚く御礼申し上げます。



昨年八月より広大会－広福寺子ども会を再開いたしました。毎回「正信偈」のお勤めをしてから始めます。子どもたちは少しずつお経を覚えてきたようです。「なむあみだぶつ！」と大きな声で唱和してくれる男子たちもいます。お参り後の遊びは「今度○○したいな」と子どもたちの笑顔にこちらも楽しませてもらっています。今後も毎月いろいろな活動でお寺に親しんでもらいたいです。

**広大会
笑顔いっぱい活動中です！**

11月 キャンドル作り



卒業生＆皆勤賞のみんな

春から中学生になったみなさんも、いつでも広大会に遊びに来てください。皆勤賞の3人は8月から3月まで休まず来てくれました。



12月 もちつき大会

広大会 年間予定

毎月土曜日 午前9時～10時 参加費 無料

- | | |
|-----------|----------|
| 6 / 25 | 本堂であそぼう |
| 7 / 23 | 本堂であそぼう |
| 8 / 27 | 流しそうめん祭 |
| 9 / 17 | 本堂であそぼう |
| 10 / 29 | ほうおんこう準備 |
| 11 / 5 夕方 | 親子ほうおんこう |
| 12月末 | もちつき大会 |
| 1 / 28 | 本堂であそぼう |
| 2 / 25 | 本堂であそぼう |
| 3 / 25 | 修了式 |

新潟教区 児童青少年大会

8月22日(月)～23日(水)

新潟市アグリパーク

小学3年生～中学生

詳しくは後日お知らせします！

**男先生とたくさんの方たちと
あそぼう！泊まろう！**

いつでも
遊びに
来てください！
待ってます♪

大遠忌とは、浄土真宗を開かれた宗祖親鸞聖人の法事のことです。五十年ごとに巡つてくる年忌法要を特に大遠忌といいます。平成二十三年が親鸞聖人の七百五十回忌に当たり、本山で大遠忌法事が盛大に勤めました。広福寺のご門徒さん三十名とともに団体参拝を行いました。末寺ではご本山の大遠忌の前後二十五年の間に勤めることになっています。

大遠忌とは？



親鸞聖人
熊皮の御影

【六百五十回大遠忌】
明治三十九年六月、七日間にわたって勤修しました。法中寺院ほか教区寺院数ヶ寺、村内真宗寺院、親戚寺院などが参勤し、数名の楽人も加わりにぎにぎしく勤まりました。前住職七歳の記憶より、連日満堂の参詣人にあふれ、芸人の舞台や出店が立ち並びました。

【七百回大遠忌】

昭和五十八年六月、二日間にわたりて勤修しました。



広福寺の大遠忌

五十年に一度の
深い出遇い

私たちの先祖は真宗門徒として、古来さまざまの行事やたくさんの「お講」（真宗の教えを学ぶ集まり）を通して真宗の教えを聞き続け、伝え続けてきました。

お講を代表するものが親鸞聖人の法事として毎年勤める「報恩講」です。真宗門徒がもっとも大切にしている法要です。そし

て五十年に一度の、親鸞聖人の特別の法要が「大遠忌」なのです。

「大遠忌」を節目として、本堂、庫裏の大修復等を行うことが多いのですが、広福寺は門信徒の皆様の大変なご苦労を頂きまして、平成十二年に新本堂・庫裏の落慶を致しました。ご尽力を頂いた門信徒、世話方総代の皆様とともに、広福寺での「七百五十回大遠忌」を来年六月十一日に勤修致しましたくお願いを申し上げます。

宗祖親鸞聖人 七百五十回大遠忌法要
来年六月十一日（日）勤修決定！

庭儀式(おねり)

村道を練り歩き本堂正面から入堂しました。御門主様をはじめ寺院方、稚児たちが参列し仏縁を結びました。



現住職、先代住職惠信・先々代住職恵応の三代で大遠忌に参列しました。

**前回の七百回忌
昭和五十八年
六月四日五日**

御門主様の御親修

雅楽の中に御門主様が出仕され、稚児代表が華籠を運びました。

帰敬式(おかみそり)

66名の方がおかみそりを受けられ、御門主様より法名を授けられました。新たに仏弟子となりました。



●大遠忌実行委員

当日の運営と準備にあたり、前回の大遠忌や本堂庫裏落慶法要と同じように実行委員会を組織し、ご門徒の皆様よりお手伝いを頂きたいと存じます。改めて委員を委嘱することになりますが、その節はご協力くださいますようお願い致します。

●帰敬式(おかみそり)
受式すると御門主様から法名が授けられ仏弟子に加えられたことをあらわします。ご希望の法名をつけて頂くことも可能です。

●庭儀式(おねり) 稚児行列
村道を練り歩き、本堂に入堂します。稚児の皆さんにもきらびやかな衣装を着て練り歩いて頂きます。

**七百五十回忌に
ご協力を**

お 知 ら せ

◎ 麓一区世話方・木村三千雄氏
ともしびに掲載

「ともしび」五月号「人・絆・ひと」に木村さんの「いのち現役」が掲載されています。農業者として歩んできた道のりが語られています。

また毎月のともしび俳壇・歌壇に俳句と短歌を投稿されています。合わせてご一読ください。



◎ 新潟教区のホームページが新しくなりました

「佛光寺 新潟教区」で検索ください。トップページは各寺院の写真が順に掲載されます。また新潟教区寺院の法中講と報恩講の日程が掲載されています。



お誕生日おめでとうございます。毎年お誕生日おめでとうございます。

◎ 九十歳・百歳のお祝い
数え年または満年齢で九十歳・百歳になられた方に、本山から「祝詞」と記念の「朱盆」が贈られます。ご氏名、生年月日を広福寺へご連絡下さい。

◎ 新潟教区のホームページが新しくなりました

いよいよ臨月を迎えた摩耶夫人がルンビニーという園に立ち寄られ、ショーカ樹の枝に右手をさしのべられた時、



「お釈迦さま誕生のおはなし」

当院ミニ法話

お釈迦さまは今から約二千五百年ほど前、現在のインドとネパールの国境あたりにあった釈迦族の国の王子としてお生まれになりました。

お釈迦様の父親は淨飯王、母親は

摩耶夫人といいます。ある夜、摩耶夫人は、一匹の白象が天上から降りてきて、自分の右脇から胎内に入るという夢をご覧になりました。その夢を聞かれた父王

は、バラモン教の仙人を呼んで夢占いをさせたところ、仙人は「この王子は成長して大人になれば立派な王様になるだろう、もし城を出て出家すれば、必ずやさとりを開いて仏陀（覚者）となるでしょう。」と告げました。

●四月の広大会で簡単にこの「お釈迦様の誕生のおはなし」をしました。誕生のときに降ったといわれる、「甘茶」にとても興味を示してくれました。花まつりの献花・献灯・灌仏のあとには「甘茶がはやく飲みたい」との声が。少しでもお釈迦様のお話が心に残ってくれたよう

た。お釈迦さまは生まれるとすぐ地上に立ち、ゆっくりと七歩歩まれて、右手で天上を、左手で地上を指し、「天上天下唯我独尊 要度衆生生死病死」と宣言されたといわれます。七歩は私たちが現実に苦しむ六道（地獄・餓鬼・畜生・修羅・人・天）という世界を超えて、さとりの世界に歩みだすことであらわされています。

天上天下唯我独尊の言葉は「この世でただ自分一人が尊い存在である」という獨りよがりではなく、「他者と比べようのない『わたし』」という尊いのちを精一杯に生きよう」という宣言なのです。「生老病死に苦しむ衆生（わたしたち）をかならず度せん」と、決して自身のさとりのみではなく、すべての人々を目覚めさせようとする決意が誓われているのです。

平成27年度当寺勧金決算書

<収入の部>

科 目	決 算 額
勧 金	3,234,000
雑 収 入	376
繰 越 金	49,456
計	3,283,832

<支出の部>

科 目	金 額	内 訳
1. 寺務経常費	3,050,644	
(1)負担金等	812,410	本山護持金 教区費 ともしび代 光寿堂維持管理費 本山御供米料
(2)事務通信費	376,304	コピーリース代 印刷費 送信費 用紙等
(3)会議費	56,700	世話方総代会議
(4)教化費	427,482	本山御使僧様法礼 報恩講・女性講法礼 カレンダー代 聞法会補助 広大会補助 教本代
(5)営繕管理費	1,281,048	火災共済 香 消防設備保守点検 庭木伐採・剪定・冬廻い・防除 セコム 電気代 灯油代 本堂建具・外灯塗装
(6)門徒交際費	96,700	新門徒御本尊
2. 積立金	200,000	広福寺積立金
計	3,250,644	

総収入 - 総支出 = 33,188 (次年度へ繰り越し)

平成28年度当寺勧金予算書

<収入の部>

科 目	予 算 額
勧 金	3,200,000
雑 収 入	5,000
繰 越 金	33,188
計	3,238,188

<支出の部>

科 目	予 算 額
寺務経常費	3,000,000
積立金	100,000
予備費	138,188
計	3,238,188

◆お墓参りに際して◆

お盆、お彼岸など年間を通して多くの皆様にお参りいただき、ありがとうございます。弥彦山を背にきれいなお花がたくさん手向けられています。

お墓参りのときも、まずは本堂のご本尊にお参りください。また酒瓶などは強風で飛ばされ危険ですので、ご配慮ください。お供え物は鳥獣に荒らされますのでお持ち帰り下さい。



◆一万二千円の勧金◆

昨年から一戸あたり一万二千円とさせて頂いております。本山・教区の負担金、寺の教学、寺務、管理、営繕費等になります。親鸞聖人七百五十回大遠忌法要の費用と、本堂の営繕費の積立もしてまいります。



◆行事案内◆

永代経法要

6月6日(月) おときづき

■午前10時 勤行
法話
正午 おとき



法中講

浜組法中六ヶ寺の参勤

6月23日(木) ちらし寿司

■午前10時 勤行
法話
正午 ちらし寿司
午後 勤行
法話



盆参法要

8月1日(月)、7日(日)
午前10時半~
勤行・法話・おときづき

皆様どうぞお参り下さい
「門徒式章」をご着用下さい
本堂落慶記念にお配りしました。
小型の輪袈裟の形をしております。
新たに製作致しましたので
ご希望の方はご連絡下さい。